

NEWS RELEASE



ナイス株式会社

2017年6月29日

住宅の耐震化をキーワードに最新の家づくりを紹介する住宅総合展示会「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」
住宅の耐震化や省エネ住宅、スマートウェルネス住宅の最新情報を発信
7月8日(土)・9日(日) 夢メッセみやぎ 「木と住まいの大博覧会」を同時開催 **入場無料**

◆ ニュースポイント ◆

ナイス株式会社(社長:平田 恒一郎、本社:神奈川県横浜市)は、7月8日(土)・9日(日)の2日間、「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」を夢メッセみやぎで開催いたします。

「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」は国内外の建材・住設機器メーカーや販売店、工務店、金融機関、地方自治体など、住宅づくりに関連する企業や団体が一堂に介し、住宅の耐震化をテーマに耐震診断や耐震補強をはじめ最新の家づくりに関する情報を発信するほか、被災された方々の住宅再建のご相談にお応えする住宅総合展示会です。

当日は、木材を使用した住宅や中・大規模木造建築物、木製品、木育、学術研究など、木に関する最新の製品・技術・情報をふんだんに紹介する木材総合展示会「木と住まいの大博覧会」を同時開催いたします。



1万9,077名が来場した2016年の「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」

◆ 専門家による住まいの相談会を開催

気象庁は、東日本大震災から6年が経過した今もなお活発な地震活動の継続が想定されるとしており、最大震度5弱以上の強い揺れの余震も発生の可能性があると地震への備えを喚起しています。宮城県では現在も1万5千人を超える方々が応急仮設住宅での生活を余儀なくされています。

宮城県は「宮城県耐震改修促進計画」を策定し、地震による建築物の倒壊などの被害から県民の生命、身体及び財産を保護するために、住宅の耐震診断や耐震改修を計画的に促進し、2020年までに住宅の耐震化率を95%にすることとしています。そのうち木造一戸建住宅については、2013年時点で約13万戸の耐震性が不足していると推計しており、助成制度を実施し、無料相談所を設置するなど耐震診断や耐震改修工事の支援に取り組んでいます。

会場では、行政による個別ブースが設置され、宮城県土木部では耐震診断や耐震改修、住宅に関する補助金相談を、宮城県住宅供給公社では土地情報の提供などを行います。そのほか、宮城県をはじめ、青森県、秋田県、岩手県、山形県、福島県の東北6県の耐震化促進に向けた施策を紹介します。(独)住宅金融支援機構やりそな銀行、七十七銀行も専用相談窓口を設置し、災害復興住宅融資や住宅ローンなど、東北地方にお住まいの方々のお悩みに無料でお応えします。



行政や金融機関が相談窓口を設置し、住まいのお悩みに無料でお応えします。

◆住宅の耐震化や防災の最新情報を発信

会場ではご自宅の耐震性能を誰でも分かりやすく知ることができるよう、動く耐震模型で実際の揺れ方などを確認しながら、建築年ごとの耐震性能の違いを説明します。

天井や床を壊すことなく住まいながら補強することができる耐震補強壁や、開口部に建物の外側から補強したり、基礎を強固にする補強部材など最新の耐震改修方法について、躯体への施工例などを通じて紹介します。NPO法人住まいの構造改革推進協会では、ご自宅の耐震性能や耐震診断、耐震改修の相談に応じるほか、具体的な防災アクションに役立つ書籍を配布します。



動く耐震模型で旧耐震基準と新耐震基準の耐震性の違いを分かりやすく説明

◆耐震性・断熱性・省エネ性に優れた住宅をご提案

ナイスグループが東北地方において復興応援型住宅として展開している「フェニーチェホーム」を実物大躯体で展示します。「フェニーチェホーム」とは、耐震等級をはじめ長期優良住宅を上回る高い基本性能を確保することを前提とし、更に被災された方のニーズを追求した住宅として商品開発したものです。

「フェニーチェホーム」の実物大構造躯体を、木質系繊維断熱材を用いたスマートウェルネス住宅仕様で展示します。

「フェニーチェホーム」に採用されているパワービルド工法は、ボルトやナットを使用せずドリフトピンを打ち込む工法のため経年による劣化や緩みが生じず、また高い熟練度がなくても均一かつ精度の高い構造体を短工期でつくり出すことができる工法です。住宅はもちろん学校、病院、老人ホーム、店舗といった中・大規模木造建築物など幅広い建築に使用されています。



「フェニーチェホーム」の実物大躯体を展示

◆話題のZEHを徹底解剖

地球温暖化対策の新しい国際ルールであるパリ協定において、日本は2030年の温暖化ガス排出量を2013年比で26%削減する目標を掲げています。中でも家庭部門では40%の削減が必要とされており、国はZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及を促進しています。

合理的なZEHの建築に向け、ナイスグループが推奨する商品群を集めた「ZEHパッケージ」を紹介します。断熱材については、素材の違いによる調湿性や遮音性といった性能の違いを体験できるコーナーを設けるほか、「HEAT20（2020年を見据えた住宅の高断熱化技術委員会）」が提唱する最高レベル「G2グレード」の断熱材の施工について、充填断熱と外張り断熱を施したミニ躯体で解説します。



断熱材の素材の違いによる快適性の違いを体験

◆健康寿命の延伸に寄与し環境にも優しいスマートウェルネス住宅

超高齢社会となった日本において、日常的に介護を必要とせず自立した生活ができる期間である「健康寿命」の延伸は最重要課題の一つとなっています。健康長寿社会の実現は人々だけではなく、医療・介護費の抑制による財政健全化など社会全体の幸せももたらすため、国は「スマートウェルネス住宅」の普及を推進しています。

スマートウェルネス住宅ブースでは、木と鉄、コンクリートの熱伝導性能の違いを体験できるコーナーや、リビングやキッチン、寝室などの空間展示などを通じて、健康に良い影響を及ぼすとされる木のある暮らしについて紹介します。



断熱材が住まいや健康に与える影響について解説

◆安全性や機能性、省施工性に優れた商品をご提案

国内外の建材・住宅設備機器の有力メーカーが一堂に会し、外壁や水回り、屋根材など住宅を形づくるあらゆる商品を紹介しします。展示ブースでは、最新の商品プロユーザーだけでなく一般ユーザーにも分かりやすいように多彩なセミナーやデモンストレーションで紹介しします。

ナイスグループのプライベートブランドである「ZENIYA」では、耐震壁と制震壁の特長を兼ね揃えた最新の壁補強材などを紹介しします。



様々なデモンストレーションが行われ
多くの人が集まるメーカーブース

◆総合シンポジウム 『健康に暮らせる住まいと木の魅力』を開催（要予約）

会場：夢メッセみやぎ会議棟 1F

時 間	ジャンル	パネリスト
7月8日(土) 14:00~15:00	木の魅力	東京大学 名誉教授 / (一社) 木と住まい研究協会 代表理事 有馬 孝禮氏
	建築	慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 教授 伊香賀 俊治氏
	環境	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 木材加工・特性研究領域 チーム長 杉山 真樹氏
	防災	
	健康	大東住宅株式会社 代表取締役社長 高橋 一夫氏

予約及びお問い合わせは:03-3568-3714 (一社)木と住まい研究協会

◆開催概要◆

名称：住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア

日時：7月8日(土) 10:00~17:00

7月9日(日) 10:00~16:00

入場料：無料

会場：夢メッセみやぎ

主催：ナイス株式会社

協賛：木材・建材・住宅設備機器有力メーカー

後援：宮城県、(一社)宮城県建築士事務所協会、(一社)岩手県建築士事務所協会、

(一社)福島県建築士事務所協会、(一財)宮城県建築住宅センター、(独)住宅金融支援機構東北支店

TBC東北放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台、河北新報社

ナイスパートナー会連合会、ナイスわくわくクラブ、素適木材倶楽部、(一社)木と住まい研究協会

(一財)強靱な理想の住宅を創る会、NPO法人住まいの構造改革推進協会

ホームページ：<http://www.nicefair.com/>

この件に関するお問い合わせ先*****

ナイス株式会社 広報室 宮川・内野 TEL：(045) 501-5048

〒230-8571 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル8F